

2024年3月期 決算説明

2024年5月9日



目次

連結業績サマリー

通期決算ハイライト

2025年3月期通期業績予想

〈参考〉 DATA FILE

2024年3月期
通期決算

連結業績サマリー

連結経営指標等（経営成績）の概要

（単位：百万円）

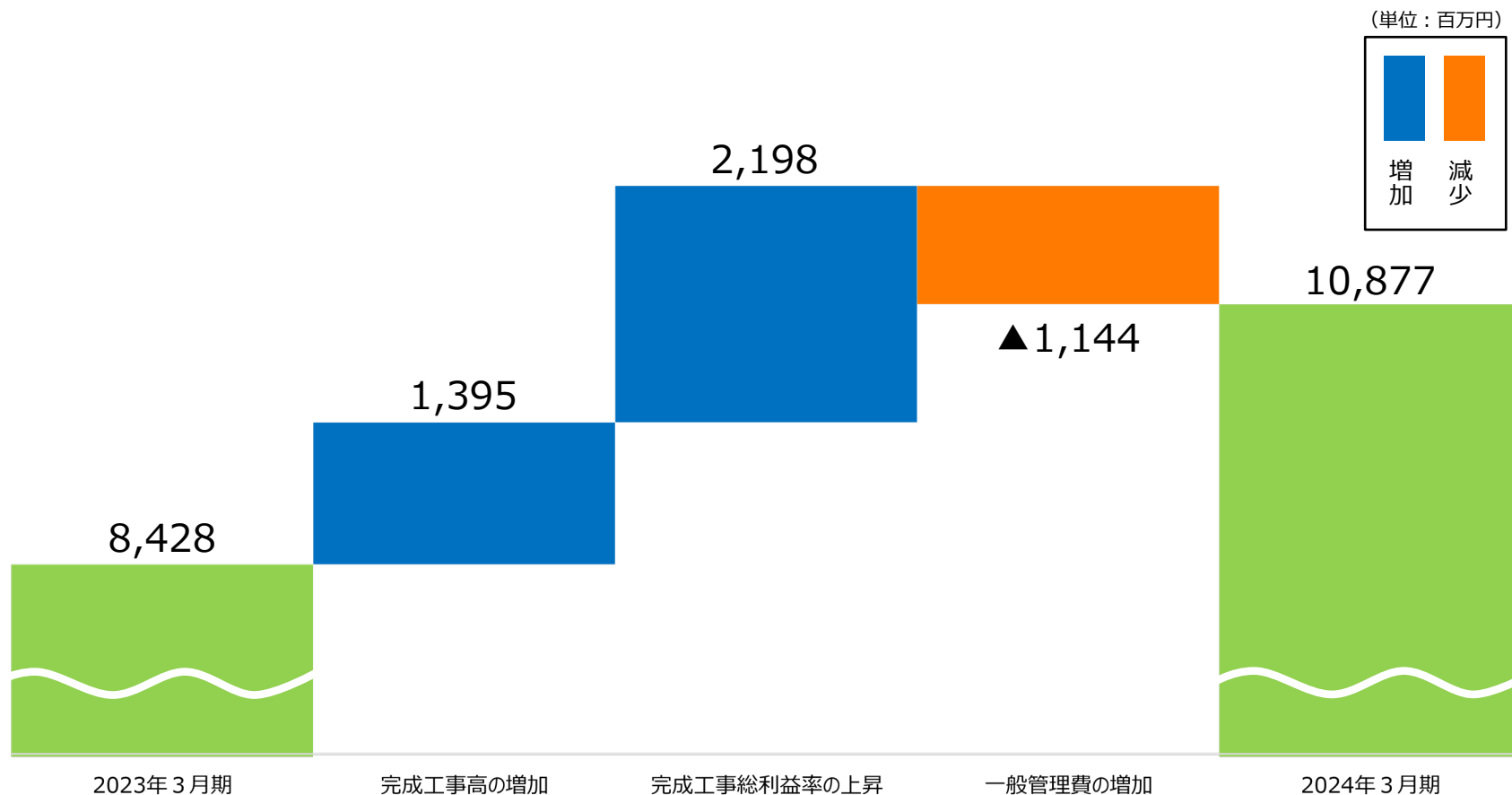
	2023年3月期	2024年3月期	増減	増減率
期首繰越工事高	163,782	184,158	20,375	12.4%
受注工事高	206,337	253,134	46,796	22.7%
完成工事高	185,961	197,431	11,469	6.2%
完成工事総利益	22,624	26,217	3,593	15.9%
完成工事総利益率(%)	12.2%	13.3%	1.1p	—
営業利益	8,428	10,877	2,449	29.1%
営業利益率(%)	4.5%	5.5%	1.0p	—
経常利益	9,288	11,918	2,630	28.3%
経常利益率(%)	5.0%	6.0%	1.0p	—
親会社株主に帰属する当期純利益	6,626	9,087	2,460	37.1%
当期純利益率(%)	3.6%	4.6%	1.0p	—
1株当たり当期純利益（EPS）	※ 154.78円	※ 212.10円	57.32円	37.0%
株価収益率（PER）	7.7倍	11.7倍	4.1倍	—
自己資本当期純利益率（ROE）	8.3%	10.3%	2.0p	—

※当社は、2023年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益（EPS）」を算定しております。

事業環境及び当社の概要

- 受注工事高は、大型の半導体工場、車載用電池工場の受注により、前期と比べ大幅に増加しました。
- 大型一般工事を中心とした受注施策により確保した繰越工事が順調に進捗した結果、完成工事高は増加しました。
- 完成工事高の増加及び、資材価格の高騰や人手不足の状況が受注先に認識され、適正な価格で受注できるようになり、完成工事総利益率が上昇した結果、完成工事利益が増加し、営業利益も増益となりました。

連結営業利益増減の内訳



- 完成工事高は、前期からの豊富な繰越工事が順調に進捗したことにより、大幅に増加しました。
- 完成工事総利益率は前ページの通り、利益改善が進んだことにより、上昇しました。
- 一般管理費は「現場業務効率化・事務作業効率化等をはじめとするDX投資」、「新規事業や施工効率化のための研究開発費及び減価償却費」、「近年の業容拡大に伴う事業活動費」等の費用により、増加しました。

連結部門別工事高の推移

(単位：百万円)

		2023年3月期	2024年3月期	増減	増減率
受注工事高	電気工事	28,741	39,236	10,495	36.5%
	管工事	177,596	213,897	36,300	20.4%
	合計	206,337	253,134	46,796	22.7%
完成工事高	電気工事	32,879	30,880	▲ 1,998	▲ 6.1%
	管工事	153,082	166,550	13,467	8.8%
	合計	185,961	197,431	11,469	6.2%
繰越工事高	電気工事	19,324	27,681	8,356	43.2%
	管工事	164,833	212,179	47,346	28.7%
	合計	184,158	239,861	55,702	30.2%

- 受注工事高は、電気工事・管工事ともに前期と比べ大幅に増加し、過去最高水準の実績となりました。
- 完成工事高は、産業施設や空港などの大型工事及び海外のリゾート施設の熱源工事が順調に進捗したことにより、増加しました。
- 繰越工事高は、前期からの繰越額及び産業施設、医療関連施設、再開発などの大型工事の受注により、大幅に増加しました。

連結経営指標等（財政状態）の概要

(単位：百万円)

	2023年3月期	2024年3月期	増減	増減率	主な増減要因・特記事項
純資産	82,424	93,987	11,562	14.0%	利益剰余金の増加、その他有価証券評価差額金の増加
総資産	148,544	160,553	12,009	8.1%	売上の増加に伴う債権・債務の計上
1株当たり純資産 (BPS)	※1,920.67円	※2,187.86円	267.19円	13.9%	株価の上昇に伴いPBRが1倍超に改善 (参考)2023年3月 株価終値：1,184円 2024年3月 株価終値：2,491円
株価純資産倍率 (PBR)	0.62倍	1.14倍	—	—	
自己資本比率	55.4%	58.4%	3.0p	—	

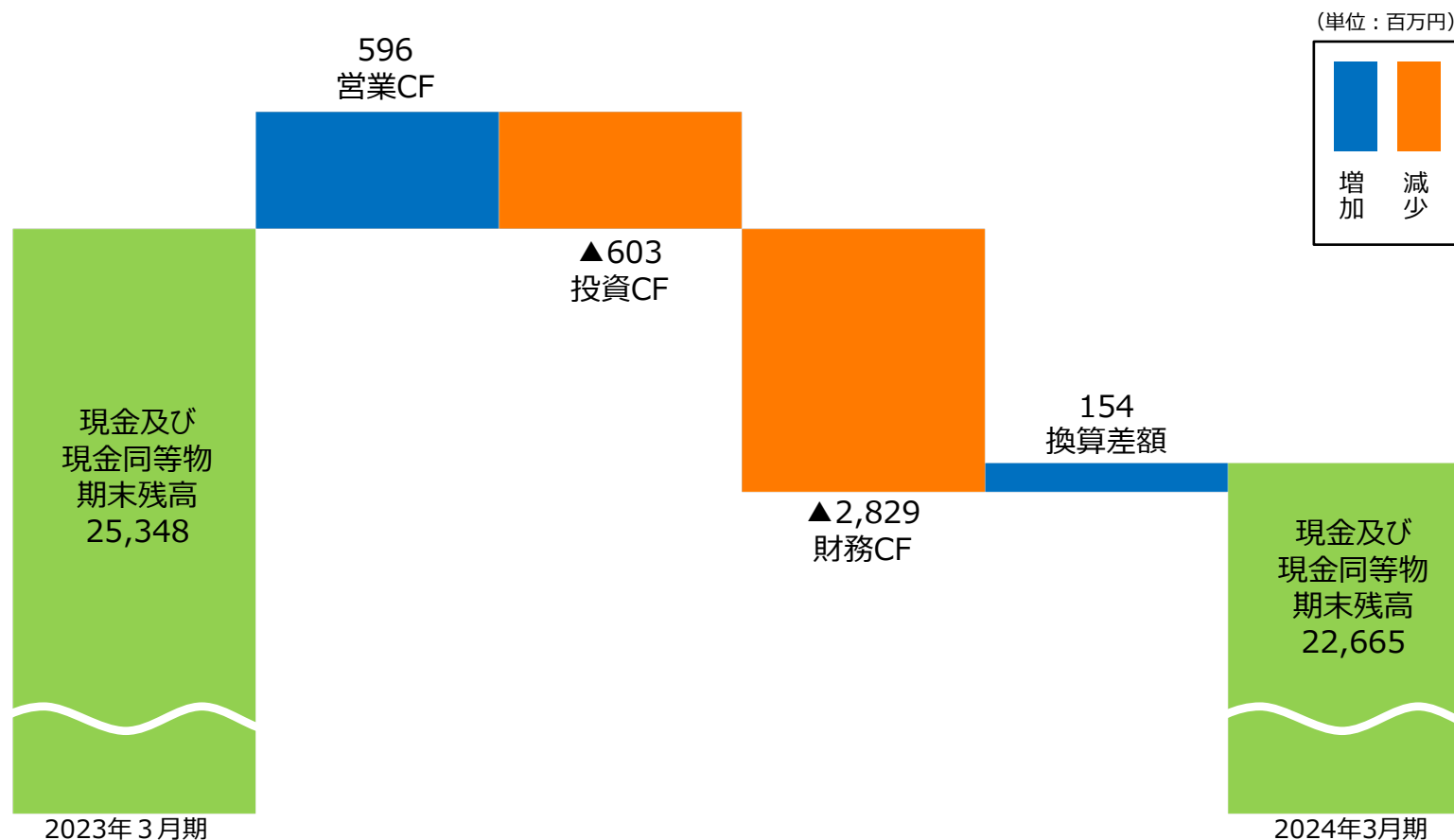
※当社は、2023年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産 (BPS)」を算定しております。

連結経営指標等（キャッシュ・フロー）の概要

(単位：百万円)

	2023年3月期	2024年3月期	増減	増減率	主な増減要因・特記事項
営業活動によるCF	15,941	596	▲15,344	—	売上の増加に伴う工事原価の支払いの先行
投資活動によるCF	▲4,729	▲603	4,125	—	支出：新潟支店の建替 オフサイト施設の建設 収入：投資有価証券の売却
財務活動によるCF	▲2,218	▲2,829	▲611	—	配当金の支払
現金及び現金同等物の期首残高	16,037	25,348	9,310	58.1%	
現金及び現金同等物の増減額	9,310	▲2,682	▲11,993	—	
現金及び現金同等物の期末残高	25,348	22,665	▲2,682	▲10.6%	

キャッシュ・フローの内訳（現金及び現金同等物期末残高の推移）



- キャッシュフローの内訳は、営業CF（売上の増加に伴う工事原価の支払いの先行）、投資CF（支出：新潟支店の建替、オフサイト施設の建設，収入：投資有価証券の売却）、財務CF（配当金の支払）それぞれの要因により、増減しております。
- 運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行3行と貸出コミットメントライン契約を締結しております。

2024年3月期
通期決算

通期決算 ハイライト

リニューアル・直接・官庁工事の状況

(単位：百万円)

	2023年3月期			2024年3月期			前年同期比	
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期	増減	増減率
リニューアル工事	49,121	34,569	83,691	41,737	42,259	83,997	305	0.4%
リニューアル比率(%)	39.3%	42.5%	40.6%	32.5%	33.9%	33.2%	▲ 7.4p	—
大規模・中規模 の改修工事	23,578	15,440	39,018	18,626	19,286	37,912	▲1,105	▲2.8%
小規模 の改修工事	25,543	19,129	44,673	23,111	22,972	46,084	1,410	3.2%
一般工事	75,844	46,801	122,646	86,785	82,351	169,137	46,490	37.9%
受注工事高合計	124,966	81,371	206,337	128,523	124,610	253,134	46,796	22.7%
うち、直接受注	55,333	34,959	90,293	49,358	67,030	116,389	26,095	28.9%
直接比率(%)	44.3%	43.0%	43.8%	38.4%	53.8%	46.0%	2.2p	—
うち、官庁工事	12,381	7,449	19,830	18,097	12,543	30,640	10,809	54.5%
官庁比率(%)	9.9%	9.2%	9.6%	14.1%	10.1%	12.1%	2.5p	—

- リニューアル工事は、期首の計画通りに推移し、前期と同水準となりました。
- 一般工事は、産業施設案件の受注を中心に大幅に増加しました。
- 直接受注は、大型の半導体工場の受注により、大幅に増加しました。
- 官庁工事は、大型案件の受注により大幅に増加しました。

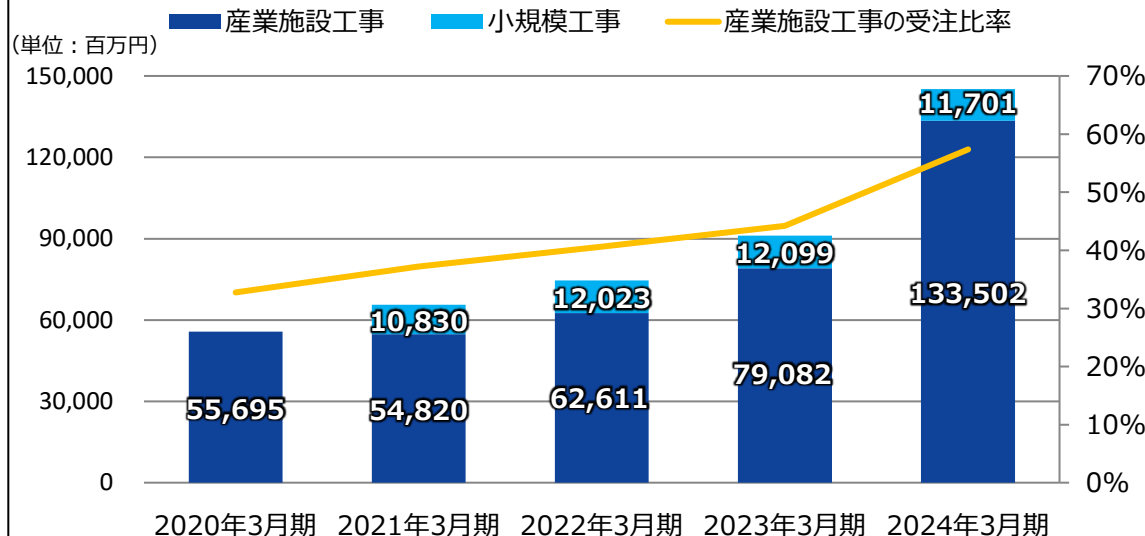
産業施設工事の状況

(単位：百万円)

	2023年3月期			2024年3月期			前期比	
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期	増減	増減率
産業施設工事合計	53,744	37,436	91,181	65,764	79,439	145,203	54,022	59.2%
(受注比率%)	43.0%	46.0%	44.2%	51.2%	63.7%	57.4%	13.2p	-
受注工事高合計	124,966	81,371	206,337	128,523	124,610	253,134	46,796	22.7%

※工場、研究所、データセンター、物流施設を「産業施設」として区分しています。

産業施設工事の受注工事高の推移



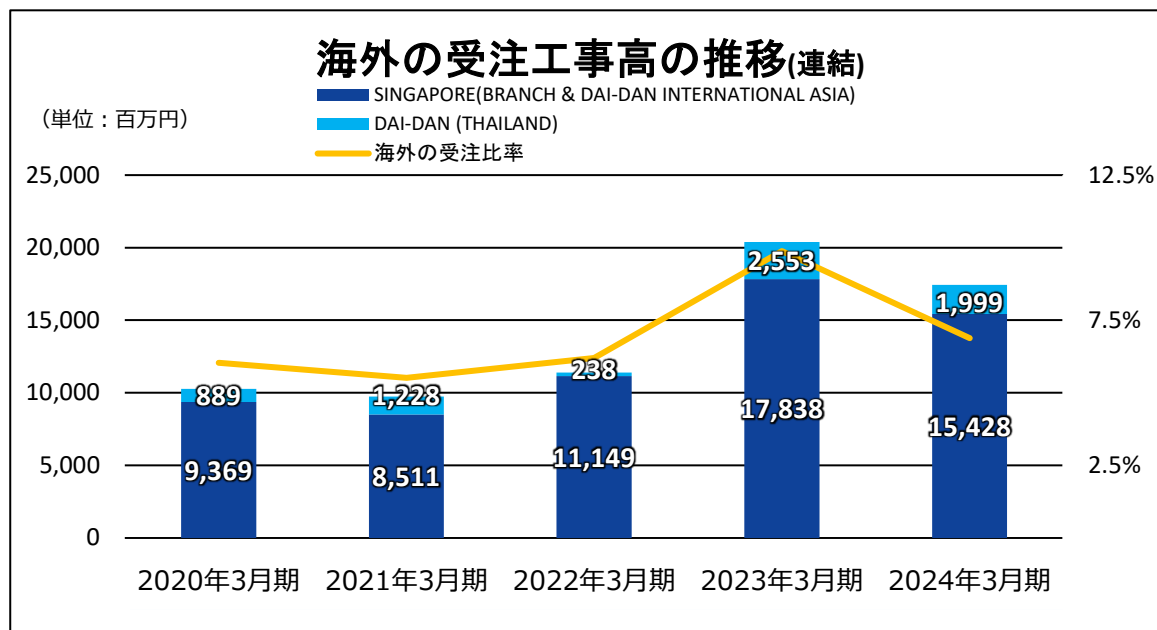
- 大型の半導体工場、車載用電池工場の受注により、産業施設工事の受注が大幅に拡大しました。これにより、目標としていた受注工事高全体に占める割合50%を大幅に上回りました。

海外事業の状況

- 海外事業は、シンガポール（支店、及びDAI-DAN INTERNATIONAL ASIA PTE.LTD.）、タイ（DAI-DAN (THAILAND) Co.,LTD.）、ベトナム（DAI-DAN (VIETNAM) Co.,LTD.（非連結））及び台湾（台湾大暖股份有限公司（非連結））を拠点に活動しています。

（単位：百万円）

	2023年3月期			2024年3月期			前期比	
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期	増減	増減率
海外工事合計（連結）	13,486	6,904	20,390	7,149	10,277	17,426	▲2,964	▲14.5%
（受注比率%）	10.8%	8.5%	9.9%	5.6%	8.2%	6.9%	▲3.0p	—
受注工事高合計	124,966	81,371	206,337	128,523	124,610	253,134	46,796	22.7%

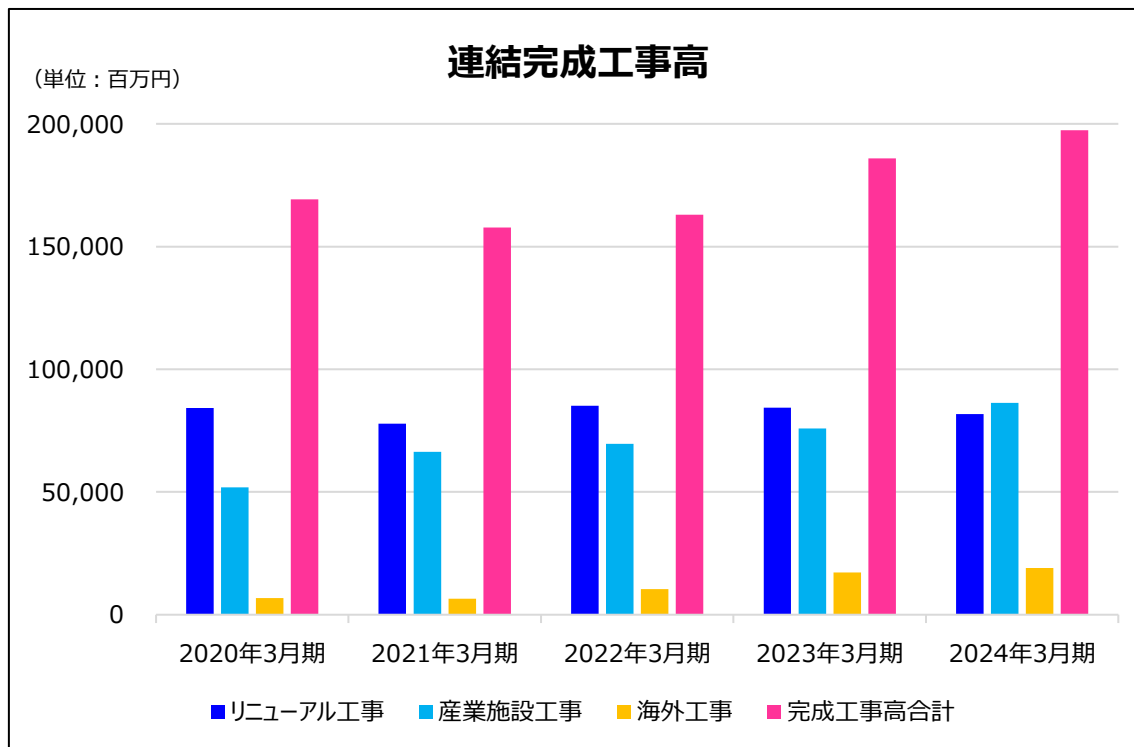


- シンガポールは、上半期に大型プロジェクトの受注がなかったため、前期と比べ大幅減となりましたが、下半期には大型プロジェクト受注が好調であったため通期では近年最大であった前期の約85%まで積みあがりました。
- タイは、工場の受注が好調であった前期と比べ減少となりましたが、今年度も約20億円程度と高水準の受注工事高となりました。

(単位：百万円)

	2023年3月期		2024年3月期		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
完成工事高合計	185,961	100.0%	197,431	100.0%	11,469	6.2%
うち (リニューアル工事)	84,285	45.3%	81,769	41.4%	▲2,515	▲3.0%
(産業施設工事)	75,874	40.8%	86,277	43.7%	10,402	13.7%
(海外工事)	17,233	9.3%	19,023	9.6%	1,789	10.4%

※リニューアル工事、産業施設工事、海外工事は、それぞれの工事種類ごとの集計であるため重複しているものも含まれます。

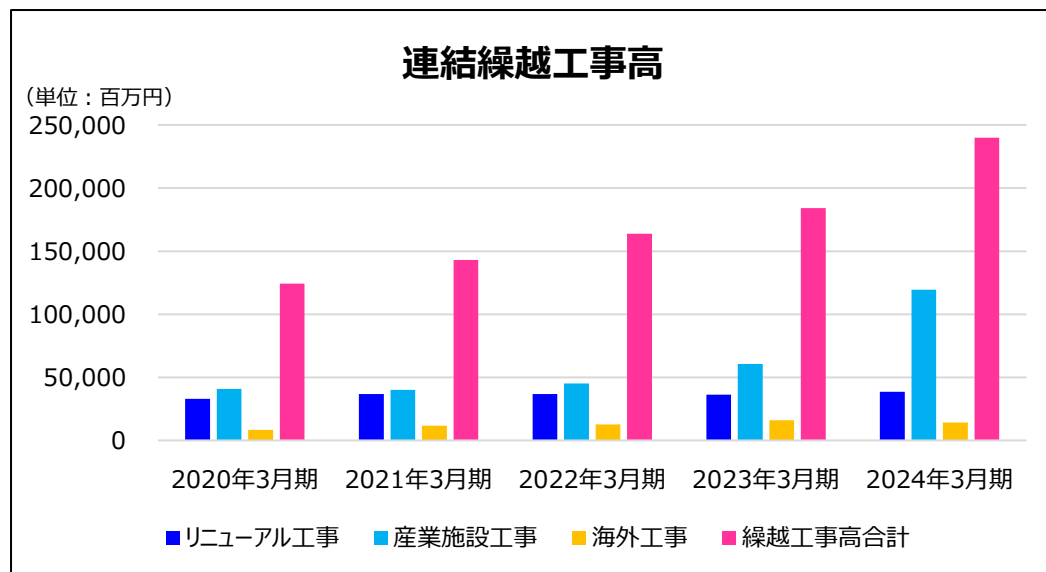


- リニューアル工事は、一般工事の受注が拡大した結果、減少しました。
- 産業施設工事は、主に工場やデータセンターの大型工事が進捗したことにより、増加しました。
- 上記のほかにも空港や東京・大阪を中心とした都市部の再開発案件の進捗により、全体でも増加しました。

(単位：百万円)

	2023年3月期		2024年3月期		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
期首繰越工事高	163,782	—	184,158	—	20,375	12.4%
受注工事高	206,337	—	253,134	—	46,796	22.7%
完成工事高	185,961	—	197,431	—	11,469	6.2%
繰越工事高	184,158	100.0%	239,861	100.0%	55,702	30.2%
うち (リニューアル工事)	36,302	19.7%	38,529	16.1%	2,227	6.1%
(産業施設工事)	60,567	32.9%	119,493	49.8%	58,926	97.3%
(海外工事)	15,996	8.7%	14,400	6.0%	▲1,596	▲10.0%

※リニューアル工事、産業施設工事、海外工事は、それぞれの工事種類ごとの集計であるため重複しているものも含まれます。



- 当期の繰越工事高は、受注工事高が前期に比べ大幅に増加し、完成工事高を上回ったことを受け、前期と比べ大幅に増加しました。
- 産業施設工事を中心に、今後の出来高に寄与する手持ち工事を豊富に抱えております。
- これを受け来期においては、繰越工事の進捗が大きく寄与し、完成工事高は大幅に増加する見込みです。

(単位：百万円)

		2023年3月期	2024年3月期	増減	増減率
受注工事高	4～6月	66,712	67,005	292	0.4%
	7～9月	58,253	61,518	3,265	5.6%
	10～12月	40,617	85,924	45,307	111.5%
	1～3月	40,754	38,685	▲2,067	▲5.1%
	4～12月	206,337	253,134	46,797	22.7%
完成工事高	4～6月	35,342	40,731	5,389	15.2%
	7～9月	47,348	50,574	3,226	6.8%
	10～12月	47,398	48,197	799	1.7%
	1～3月	55,873	57,927	2,054	3.7%
	4～3月	185,961	197,431	11,470	6.2%
営業利益	4～6月	818	691	▲126	▲15.5%
	7～9月	2,832	2,340	▲492	▲17.4%
	10～12月	1,521	3,311	1,790	117.8%
	1～3月	3,257	4,534	1,277	39.2%
	4～3月	8,428	10,877	2,449	29.1%

- 受注工事高は、10～12月に大型の産業施設案件の受注により、前期と比べ大幅に増加しました。
- 完成工事高は、産業施設や再開発案件等の工事が順調に進捗したことにより、増加しました。
- 営業利益は、10月～3月に手持ち工事の利益改善が進み、前期と比べ増加しました。

2024年3月期
通期決算

2025年3月期
通期業績予想

連結通期業績予想

(単位：百万円)

	2024年3月期	2025年3月期	前対比 通期	
	通期実績	今回予想 【通期】	増減	増減率
受注工事高	253,134	250,000	▲3,134	▲1.2%
完成工事高	197,431	250,000	52,569	26.6%
完成工事総利益	26,217	33,000	6,783	25.9%
完成工事総利益率(%)	13.3%	13.2%	▲0.1p	—
営業利益	10,877	15,000	4,123	37.9%
営業利益率(%)	5.5%	6.0%	0.5p	—
経常利益	11,918	15,300	3,382	28.4%
経常利益率(%)	6.0%	6.1%	0.1p	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	9,087	11,000	1,913	21.1%
当期純利益率(%)	4.6%	4.4%	▲0.2p	—
自己資本当期純利益率 (ROE)	10.3%	11.3%	1.0p	—

業績予想の前提

- 本日発表の「Stage2030中期経営計画 Phase2《磨くステージ》」（2025年3月期～2027年3月期）をグループ総合力強化の3年間と位置づけ、2025年3月期の業績予想につきましては、受注工事高は過去最高水準であった前期と同水準を見込み、完成工事高については、前期の受注による繰越工事の確保により過去最高値となる見込みです。
- 完成工事総利益率は前期と同水準を見込むものの、完成工事高の大幅な増加を受け、営業利益においても過去最高値となる見込みです。

株主還元に対する方針

- 配当による株主への利益還元を経営上の最重要施策と考え、健全な財務体質の構築に努めています。
- 本日発表の「Stage2030中期経営計画 Phase2《磨くステージ》」の通り、さらなる利益還元及びより安定的な配当政策を進めるため、2025年3月期より「**配当性向40%以上かつ純資産配当率（DOE）4%を下限とすること**」を新たな配当方針といたします。
 （前中計比+ 5 pt） （今中計より新規設定）

配当の状況

	年間配当金			配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第2四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	45.00	55.00	100.00	2,150	32.3%	2.7%
2024年3月期 (株式分割前換算)	55.00	48.00 (96.00)	— (151.00)	3,246	35.6%	3.7%
2025年3月期 (予想)	52.00	52.00	104.00	4,472	40.5%	4.6%

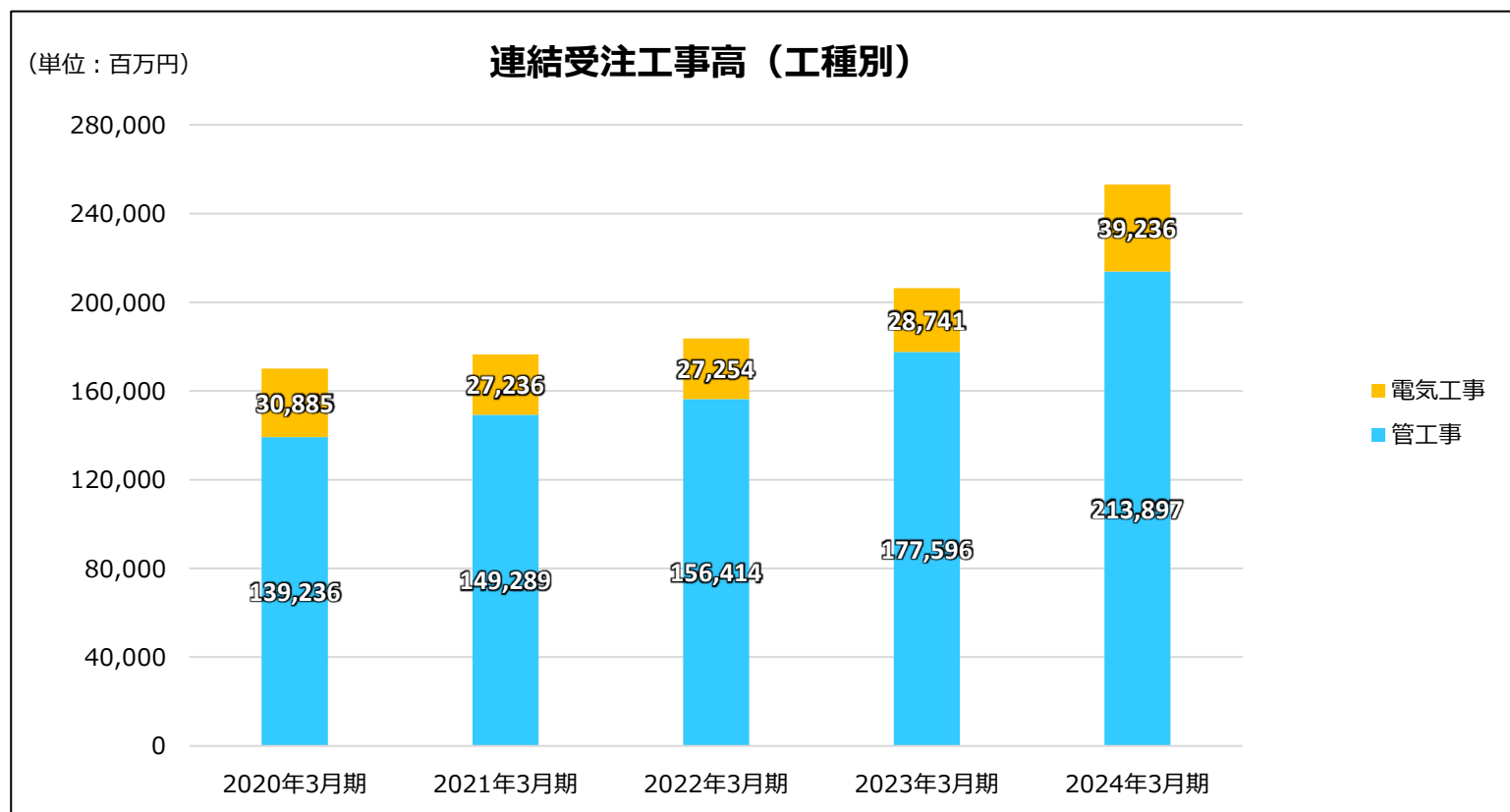


<参考>
DATA FILE
〔通期〕

連結受注工事高（工種別）〔通期〕

(単位：百万円)

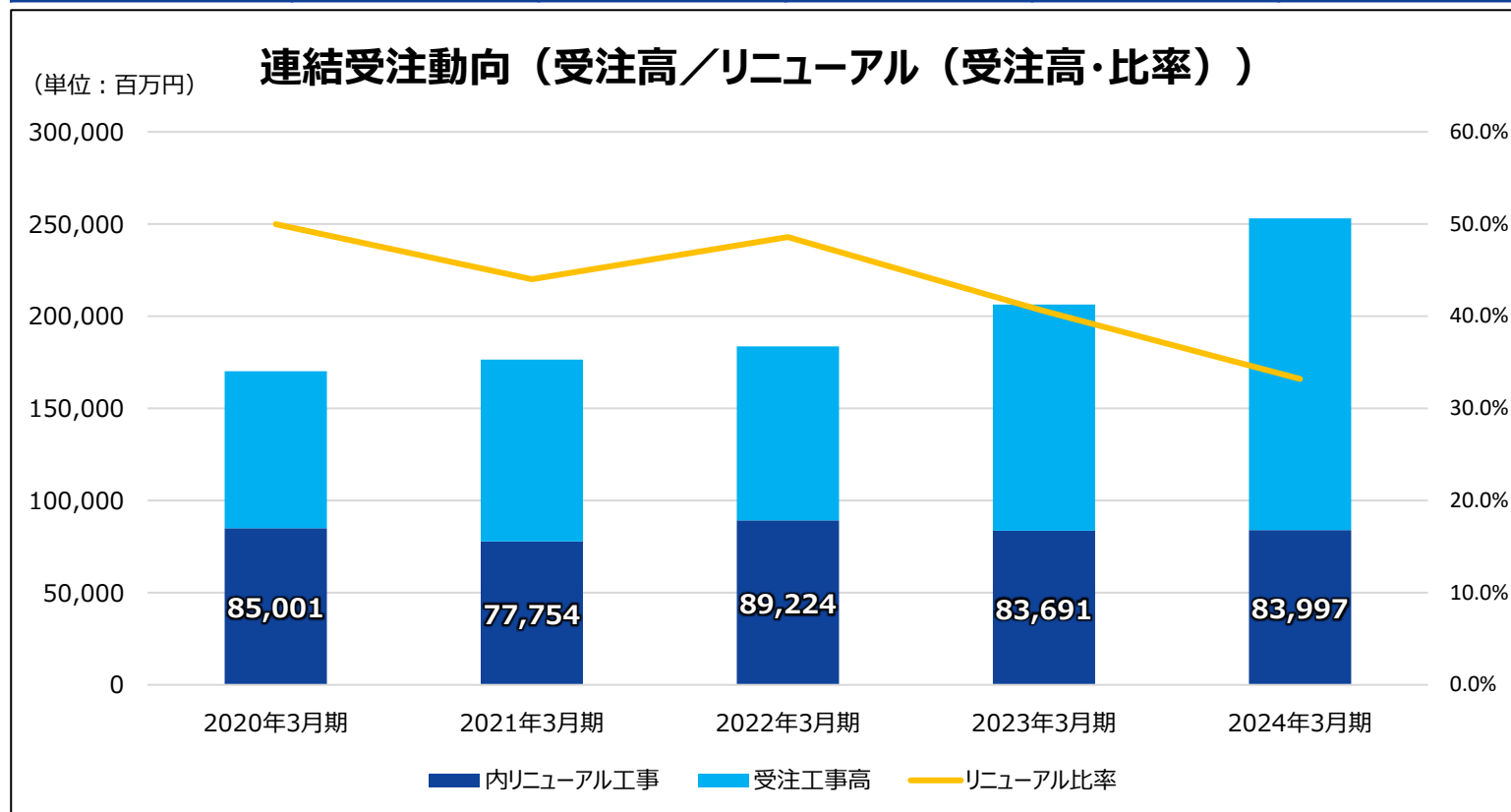
	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
電気工事	30,885	27,236	27,254	28,741	39,236
管工事	139,236	149,289	156,414	177,596	213,897
合計	170,121	176,526	183,668	206,337	253,134



連結受注動向（受注高／リニューアル）〔通期〕

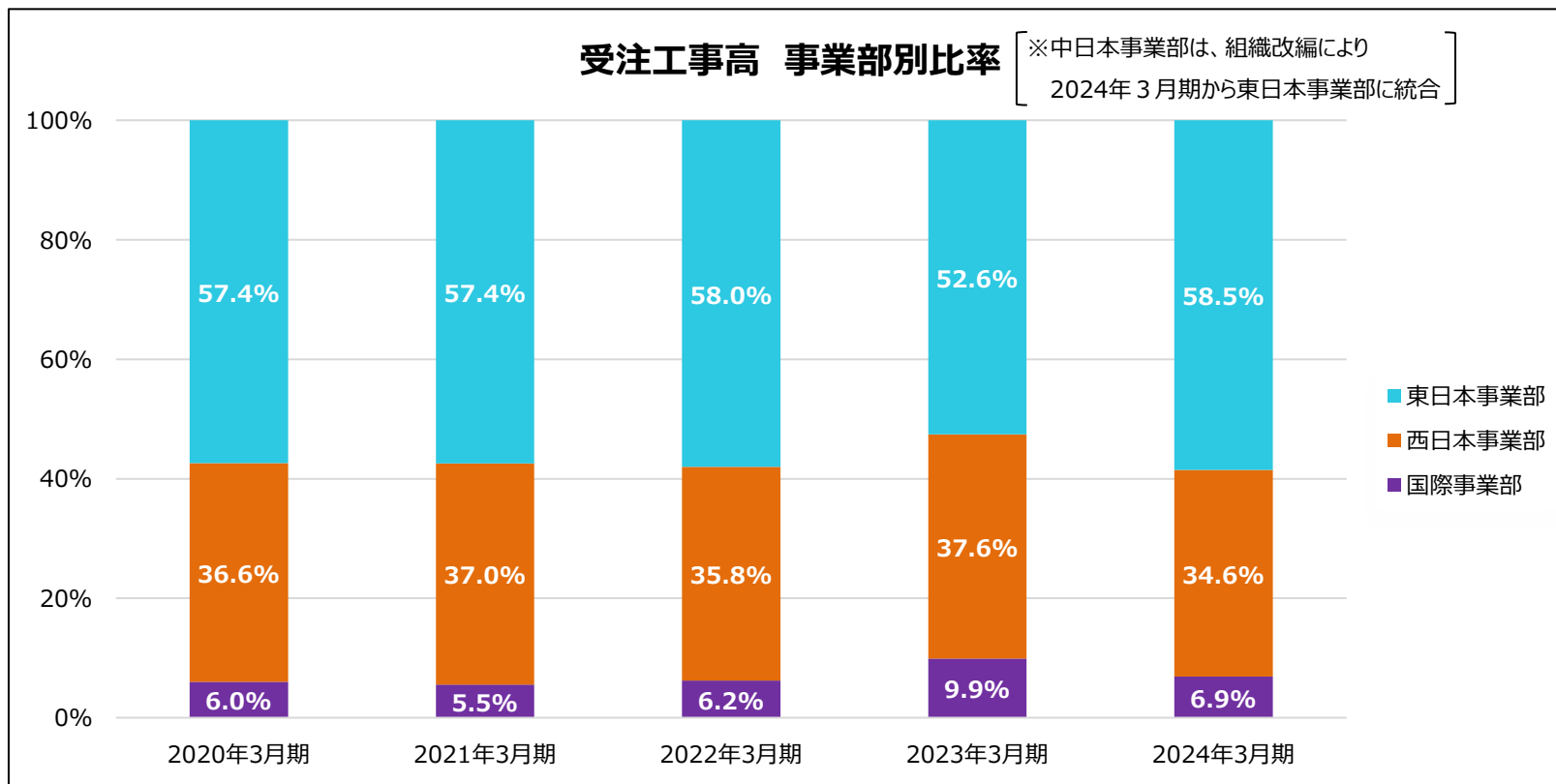
(単位：百万円)

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
受注工事高	170,121	176,526	183,668	206,337	253,134
リニューアル工事	85,001	77,754	89,224	83,691	83,997
リニューアル比率	50.0%	44.0%	48.6%	40.6%	33.2%



連結事業部別受注工事高比率〔通期〕

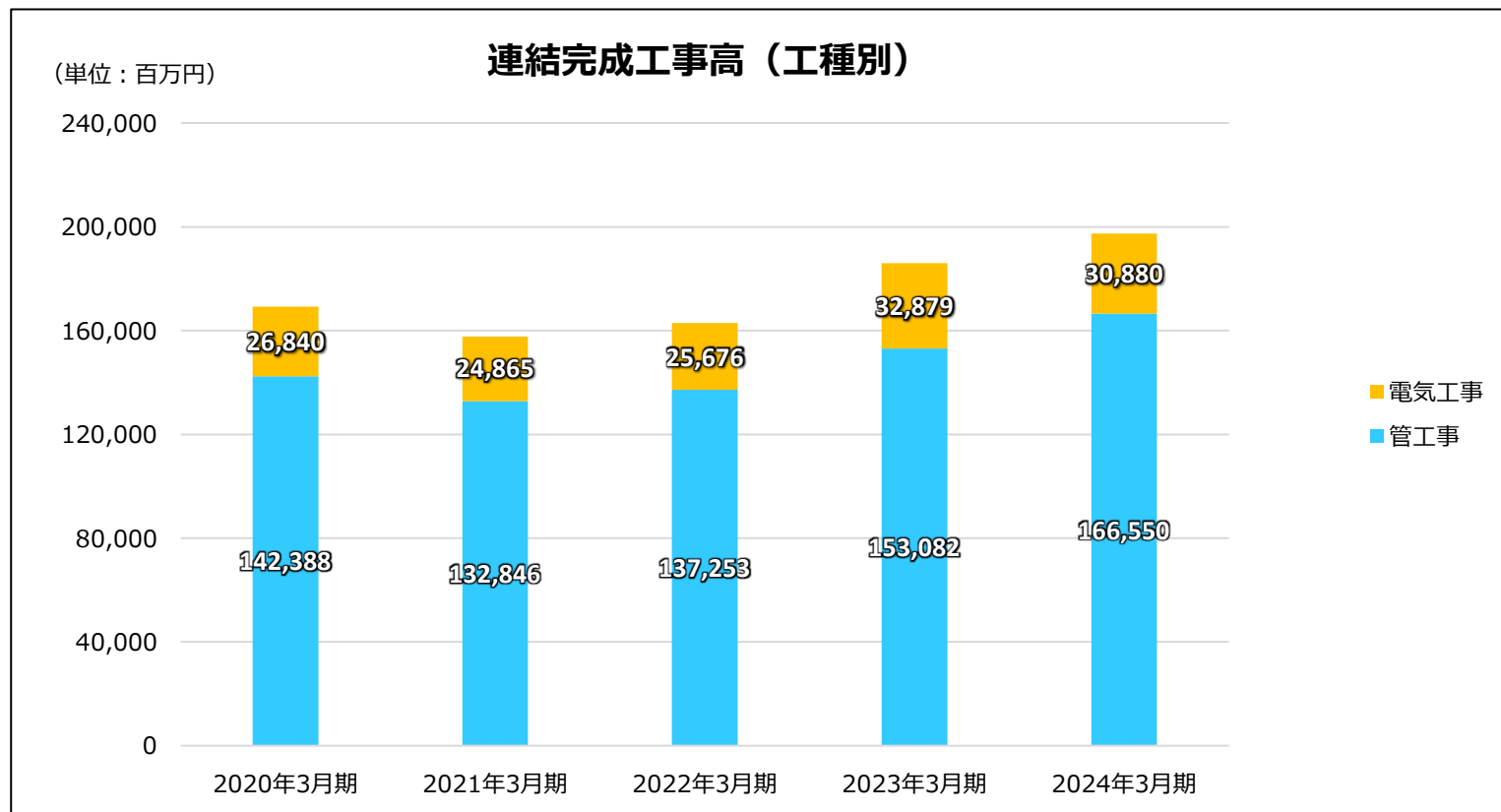
	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
東日本事業部	57.4%	57.4%	58.0%	52.6%	58.5%
西日本事業部	36.6%	37.0%	35.8%	37.6%	34.6%
国際事業部	6.0%	5.5%	6.2%	9.9%	6.9%



連結完成工事高（工種別）〔通期〕

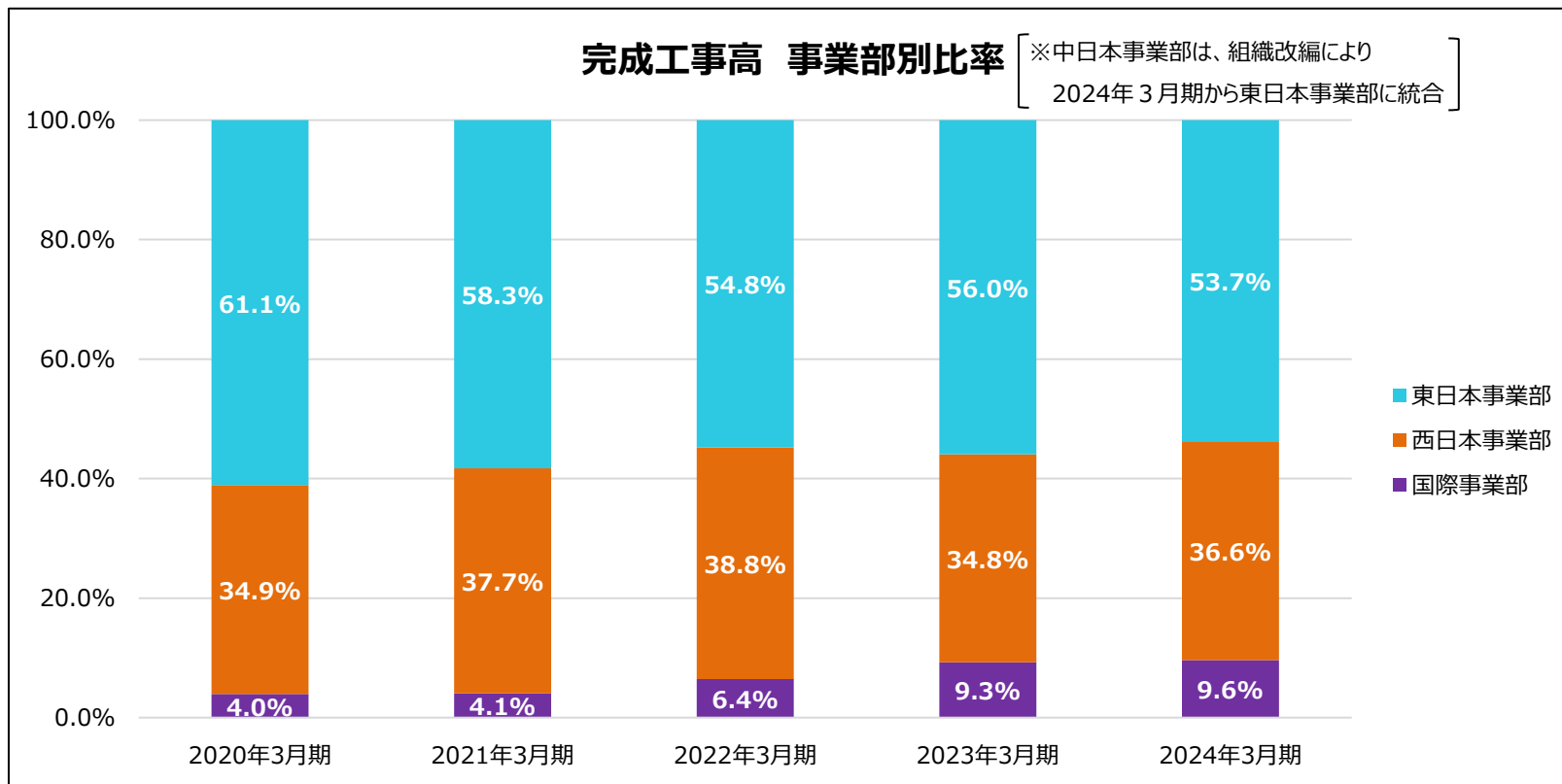
(単位：百万円)

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
電気工事	26,840	24,865	25,676	32,879	30,880
管工事	142,388	132,846	137,253	153,082	166,550
合計	169,229	157,712	162,929	185,961	197,431



連結事業部別完成工事高比率〔通期〕

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
東日本事業部	61.1%	58.3%	54.8%	56.0%	53.7%
西日本事業部	34.9%	37.7%	38.8%	34.8%	36.6%
国際事業部	4.0%	4.1%	6.4%	9.3%	9.6%



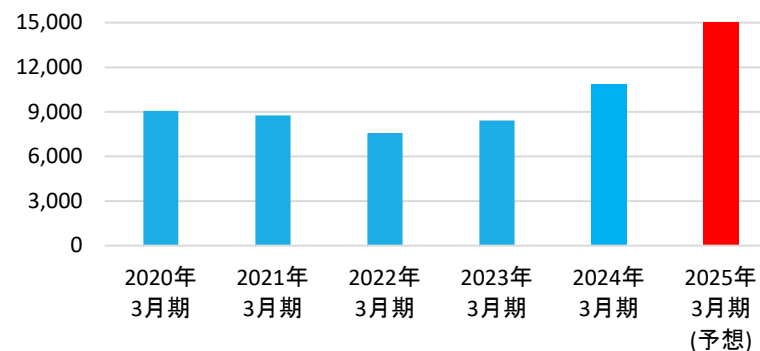
連結業績利益（営業／経常／当期）〔通期〕

(単位：百万円)

	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期 (予想)
営業利益	9,063	8,754	7,584	8,428	10,877	15,000
経常利益	9,282	9,262	8,095	9,288	11,918	15,300
当期純利益	6,399	6,318	5,778	6,626	9,087	11,000

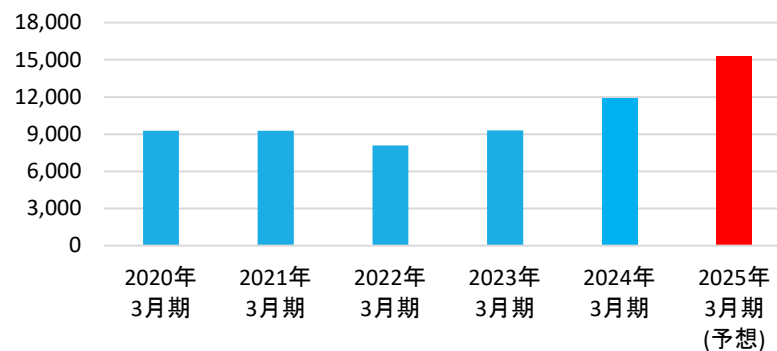
(単位：百万円)

営業利益



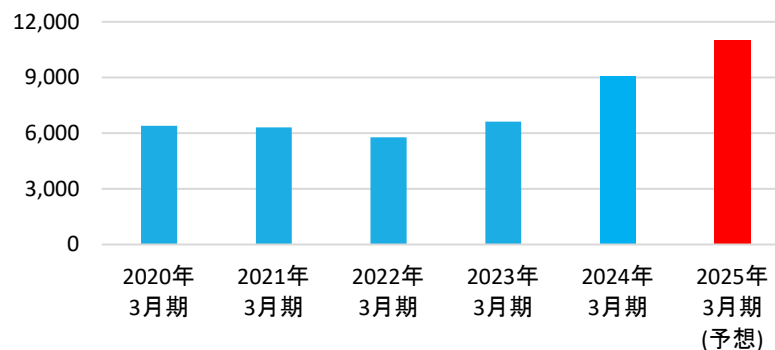
(単位：百万円)

経常利益



(単位：百万円)

当期純利益



免責事項

当社が開示する今後の計画、戦略などの将来の業績に関する見通しは、発表時点で合理的であると判断する前提に基づき作成しています。従って、様々な要因により、実際の業績が予想と異なる結果になる場合があります。

I Rに関する問合せ先

経営企画本部 コーポレートコミュニケーション部：電話 03-5276-4568

〒102-8175 東京都千代田区富士見2-15-10